



第五小だより

朝霞市立朝霞第五小学校
〒351-0024 朝霞市泉水3-16-1
TEL: 048-462-0455
FAX: 048-467-4737
Email: 5shou@asaka-c.ed.jp
文責: 校長 唐松 善人

令和3年1月6日発行 第11号

目指す学校像 生き生き学び、楽しくのびのび活動する、元気な学校

吉凶は人に由る



明けましておめでとうございます。保護者や地域の皆様方におかれましては、希望に満ちた令和3年の新春をお迎えのことと存じます。旧年中は、本校の教育活動に対しまして、御理解及び御協力をいただきましたことに心より御礼申し上げます。誠にありがとうございました。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

さて、私が小学生の頃、正月になると両親とともに初詣によく行きました。そして、おみくじを引いたことを覚えています。小学生ながらも、「吉」が出ると今年は良いことが起こりそうだと喜び、「凶」が出てしまうと良くないことが起きてしまうのではないかと不安になったものです。

この「吉」と「凶」に関してですが、「窮達（きゅうたつ）は命（めい）なり。吉凶は人に由（よ）る」という言葉があります。窮達とは困窮と栄達の意であり、命とは自分の力ではどうにもならない運命のことです。つまり、「窮達は命なり」とは、長い人生の中で、困窮に陥ってしまったり、栄達に恵まれたりすることは、自分自身の力だけではなく運によって起こってしまうこともあるという意味です。そして、「吉凶は人に由る」とは、運によって起こった困窮や栄達を、「吉」とするのか、あるいは「凶」とするのかは、その人の受け止め方次第、考え方次第であるという意味です。

確かに、長い人生の中では、困窮に陥るときもあれば、栄達に恵まれるときもあります。今、栄達に恵まれているからといって、驕り高ぶる行動をとってしまうと、その栄達は後の「凶」の原因となってしまいうでしょう。逆に、困窮に陥っているときであっても、周囲への感謝を忘れずに、冷静に受け止めて努力し続ければ、その困窮は後の「吉」の原因となります。東西を問わず歴史を振り返ってみても、偉大な業績を残されている方の多くは、困窮の中から人生を飛躍させています。

本校の児童も、将来、社会の中で自立して生きていく際、自分自身が原因ではないのに、困窮に陥ることがあるかもしれません。しかし、その困窮を人生の良薬と受け止めて克服し、その後の幸せの種として欲しいと願います。本校では、児童一人一人の個性や発達段階を見極めながら、困難な場面を解決する能力を段階的に育成していきます。



五小の様子



【学校運営協議会】

地域とともにある学校づくりを目指して3回目の学校運営協議会を開催しました。本校の新型コロナウイルス感染症予防対策について共通理解を図りました。



【人権の授業】

5年生で「人権感覚育成プログラム」(県教委)を活用した授業を実施しました。人権についての理解を深めさせるとともに、人権を守る行動力を育成していきます。



【クラブ活動】

4年生以上の児童が、自分で選択したクラブで、異学年の児童と共に活動します。本年度は、新型コロナウイルス感染症予防対策を徹底する中での実施です。